

9.1.5. 越境 EC の支払方法

越境 EC の支払方法については、一部項目にて各国間で傾向が異なる（図表 9.1-19）。

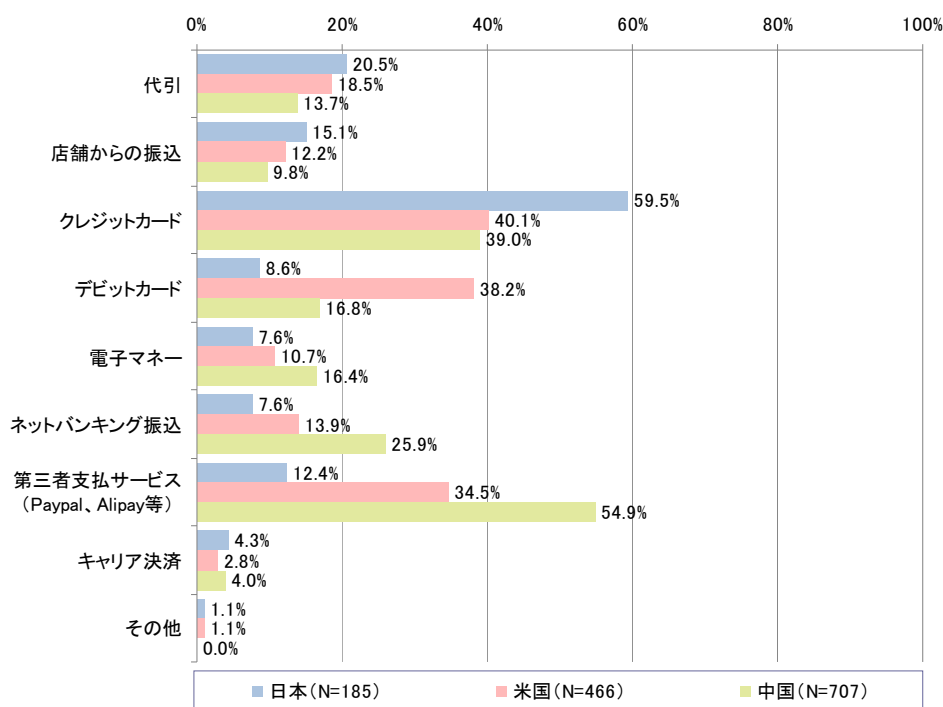
日本では、「インターネット上でのクレジットカード支払」59.5%が最も多く、以下「配達受取時の代金引換支払（現金、クレジットカード、小切手など）」20.5%、「窓口・ATM 端末などでの振込（銀行、郵便局、コンビニなど）」15.1%の順となっている。

米国では、「インターネット上でのクレジットカード支払」40.1%が最も多く、以下「インターネット上でのデビットカード支払」38.2%、「インターネット上での第三者支払サービスによる支払（Paypal、Alipay 等）」34.5%の順となっている。

中国では、「インターネット上での第三者支払サービスによる支払（Paypal、Alipay 等）」54.9%が最も多く、以下「インターネット上でのクレジットカード支払」39.0%、「インターネット上でのネットバンキング振込」25.9%の順となっている。

各国間で特に傾向が顕著に異なるのは、“クレジットカード”“第三者支払い”の 2 項目である。クレジットカードは、日本では最も越境 EC における利用率が高いが、米国・中国はともに日本より 20 ポイント以上下回る。第三者支払いについては、中国における利用率が日本・米国と比較して突出して高い。中国の EC 利用者においては Alibaba の Alipay が非常に普及しており、その影響が大きく出ているものとする。

図表 9.1-19 越境 EC の支払方法(2013)



[回答条件]越境EC利用者